

第70回ボーイスカウト研究発表会

開催要項

日本ボーイスカウト愛媛県連盟

- 1 趣 旨 県内各地区のボーイスカウトが日常のスкауティングを通して培った研究成果を発表し合い、スカウトとしての自覚を高め、資質の向上を図る。
- 2 日 時 令和8年2月8日（日）10：00～16：00（受付9：20～）
- 3 会 場 テクスポート今治
今治市東門町5-14-3 TEL0898-23-8700
- 4 主 催 日本ボーイスカウト愛媛県連盟
- 5 後 援 愛媛県教育委員会 愛媛新聞社 NHK松山放送局 南海放送
(予 定) テレビ愛媛 あいテレビ 愛媛朝日テレビ
- 6 日 程 9：20 受付開始
10：00 富士スカウト顕彰式
10：30 開会式 オリエンテーション
活動報告部門（午前の部）

昼 食 （審 査）

研究発表部門（午後の部）
15：30 表彰式 閉会式
16：00 解 散

※上記の日程は、発表数により変更があります。
- 7 発表題 研究題は自由ですが、愛媛森林基金からの助成で行っていますので、環境に関するテーマが宜しいかと思われます。
- 8 発表内容 スカウティングに関するもの
- 9 発表時間 [C S 部門] 4分以上6分以内
[B S 部門] 6分以上8分以内
[V S 部門] 6分以上8分以内
〔活動報告部門〕 おおむね5分程度（隊の活動報告または団の活動報告、BS／VS 県連行事・日本連盟開催事業参加報告、RS 活動報告）

- 10 資 格 発表者は、令和7年度登録済みの県内のビーバー、カブ、ボーイ、ベンチャー、ローバースカウトであり、各団は部門ごとに1発表とする。ただし、ビーバースカウトは団活動報告のみの参加とする。
- ※全体の発表グループ数が上限（20グループ）に達しない場合は、団から複数参加を認める。

11 審査員

- ・特別審査員：愛媛県教育委員会 マスコミ関係者（愛媛新聞社論説委員長）
- ・県連盟審査員：副理事長 地区代表理事 県コミッショナー

12 審査基準（各部門）

観点	項目	審査の具体
1	独自性 (オリジナリティー)	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい発想で取り組んでいるか。 ・新しい発見はあるか。 ・引用した内容と独自の部分の区別は明確か。
2	スカウティングとの 関連性と活動への発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・スカウトとしての動機は明確か。 ・研究の成果を活動に生かすことができるか。 ・他のスカウトへの影響力はあるか。 ・客観性はあるか。（誰がしても同じ結果になるか）
3	表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の構成は適切か。 (動機→仮説・予想→実験・体験→考察→実践・活動への導入) ・資料（図表や絵等）は効果的に提示できたか。 ・声の大きさは適切か。
4	発表時間	<ul style="list-style-type: none"> ・発表時間の過不足は、1分ごとに0.5点減点。 ・発表時間は第一声から終了までとする。

(活動報告部門)

観点	項目	審査の具体
1	スカウトらしい活動であるか	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの部門の活動目標に則しているか。 別紙参照(各部門の活動目標)
2	独自性 (オリジナリティー)	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい発想で取り組んでいるか。 ・新しい発見があるか。
3	表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の構成は適切か。 ・資料（図表や絵等）は効果的に提示できたか。 ・声の大きさは適切か。

13 評価の目安

観点ごとの配分点を満点として評価する。発表時間の記録は、別に担当者を設ける。

14 審査方法

- (1) 採点に際しては、0.5 点の端数を認める。
- (2) 各審査員の採点結果を平均して得点とする。
- (3) 時間の合図は、ボーイ部門・ベンチャー部門は 6 分で短一声、8 分で短二声、8 分を超えるときは、1 分ごとに短一声の号笛を入れる。
カブ部門・活動報告部門は 4 分で短一声、6 分で短二声、6 分を超えるときは、1 分ごとに短一声の号笛をいれる。

15 表 彰

- (1) 研究発表部門は、カブ・ボーイ・ベンチャーの部門別とし、次の賞を授与する。
 - ・最優秀賞（特に優秀であるもの）・・・1
 - ・優秀賞（優秀であるもの）・・・・・・若干数
 - ・特別賞（それぞれの審査観点において特に優れているもの）・・必要に応じて
 - ・審査員賞（発表内容から努力していた事を表現し賞とする）
例：チームワーク賞 環境保護賞 ロープワーク賞 工作賞 など
- (2) 活動報告部門は次の賞を授与する。
 - ・特別審査員賞：各部門別（BVS・CS・BS・VS・RS）、団発表部門

16 記念品

発表者全員に記念品を贈呈する。（ただし、事前に申し込みのあった数に限る）

17 服 装

発表者・見学者とも加盟員は制服、自隊のネッカチーフを着用すること。

18 提出物について ※ 提出締切日は、いずれも令和 8 年 1 月 1 5 日（木）です。

(1) 発表責任者

- ① 発表者用申込書（様式 1）
準備の都合上、発表者申込書（様式 1）の「発表の概要」の欄に、内容が分かるようにご記入ください。
 - ② 参加者人数報告書（様式 2）
※ 各自、昼食をご持参ください。
 - ③ ステージレイアウト
※「発表隊の留意事項」
- } 追って HP 等にてご案内します。

(2) 県連盟役員

- ④ 県連盟役員申込書（様式 3）
※ 来賓等対応の県連役員、審査員、当日の奉仕者（運営委員・ローバー含）については、お弁当を配布いたします。